



第367号

社団法人
徳島県環境技術センター

発行

徳島市津田海岸町2-33
電話 (088) 636-1234(代)
発行責任者 松原 義輔
編集者 原岡 艶甲

第24回全国浄化槽大会開催

松原会長が環境大臣表彰受賞

「浄化槽の日」の記念行事の全国浄化槽大会が10月1日、東京都千代田区の東京會館で開催され、全国から約900名が出席した。

まず、主催19団体を代表して(社)全国浄化槽団体連合会の松下鉄男会長(上山健治郎会長代行代読)が挨拶。続いて松本龍環境大臣及び馬淵澄生国土交通大臣からの祝辞が読み上げられた。

式典では、浄化槽に関する貢献のあった方に対し、



謝辞をのべる松原会長



環境大臣表彰22名、国土交通省総合政策局長表彰5名、同住宅局長表彰4名、環境省廃棄物・リサイクル対策部長表彰32名の表彰が行われた。

当センターの松原義輔会長に環境大臣表彰、原岡常務理事に国交省住宅局長表彰が授与され、松原会長が受賞者63名を代表して謝辞をのべた。

続いて、記念講演が行われ、総務省地方公営企業経営アドバイザー(元福島県三春町企業局長)遠藤誠作氏が「浄化槽と地域の下水道経営のあり方」について講演した。

長野市で全国技術研究集会開催

宮内課長が徳島の取り組みを紹介

第24回全国浄化槽技術研究集会在、10月19日・20日の2日間、長野市ホクト文化ホールで開催された。

この研究集会は「浄化槽の日」の関連事業として、浄化槽に関する技術の向上とその適正な普及促進を図るため、昭和62年から(財)日本環境整備教育センターの主催により毎年開催されている。

当センターからは、松原会長、山田、井内両副会長、大坂会計理事、原岡常務理事の役員5名及び宮内他5名の検査員計11名が出席した。

第1日目の「浄化槽検査員研究会」では、環境省・国土交通省などから浄化槽関連施策や生活排水対策推進への取り組みなどの行政報告がなされ、続いて、「災害時における浄化槽被害等対策マニュアルについて」などの情報が(財)日本環境整備教育センター調査・研究グループから発表された。



長野市ホクト文化ホールにて

パネルディスカッションでは、豊橋技術科学大学環境・生命工学系 木曾祥秋教授が座長となり、「浄化槽の法定検査等に係わる新たな動き」をテーマに、パネルディスカッションが行われ5人のパネラーから事例が発表された。

徳島県からは、「検査機関が法第11条検査への期待に応えるための取り組み」の事例を(社)徳島県環境技術センター検査部検査第一課宮内浩二課長が発表した。2日目は、第24回浄化槽技術研究集会の特別講演・研究発表が行われた。

特別講演は、北海道大学大学院公共政策学研究中心 研究員遠藤誠作氏から「市町村財政と今後の上下水道事業のあり方」と題して講演が行われた。

また、研究発表会では、検査機関や大学などから20題の研究が発表された。

法定検査上半期 39,425 基実施

県環境技術センターは、平成 22 年度上半期の検査実施数をまとめた。

7 条検査 1,438 基（前年度比 78 基減）、11 条検査 37,987 基（前年度比 5,958 基増）となった。判定結果は次のとおりであった。

判 定	7 条検査	11 条検査	合 計
適 正	834 基	15,413 基	16,247 基
概ね適正	414 基	16,161 基	16,575 基
不 適 正	190 基	6,413 基	6,603 基
計	1,438 基	37,987 基	39,425 基

浄化槽出荷台数 4.1% 減

■ 22 年 4 月から 9 月まで ■

（社）浄化槽システム協会が発表した浄化槽出荷統計によると平成 22 年度 4 月から 9 月までの小型合併浄化槽出荷基数は 5 人槽～10 人槽が 67,612 基で、前年比 4.1% 減。また、11 人槽～50 人槽は同 3,760 基で同 6.2% 減であったため、全体では、71,372 基で同 4.3% 減となった。（表－1、図－1 参照）。

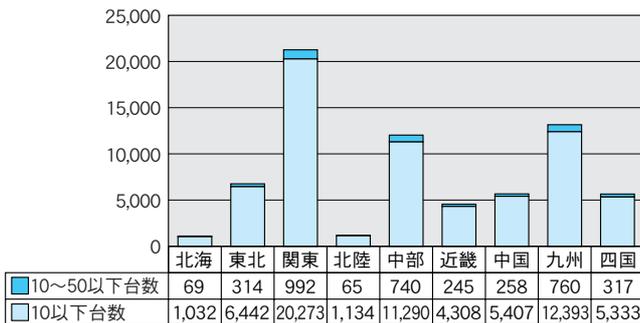
地域別で見ると、四国が前年度比 2.3% 増の 5,650 基であった。

四国ブロックを県別で見ると、香川県 1,748 基（3.2% 増）、徳島県 1,526 基（0.5% 増）、愛媛県 1,489 基（4.9% 増）であったが高知県は 887 基で前年度比

表－1 平成 22 年度小型合併浄化槽 工場生産出荷台数(ブロック別)

ブロック	5～10人槽		11～50人槽		合 計	
	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
北海道	1,032	87.2%	69	92.0%	1,101	87.5%
東北	6,442	93.0%	314	97.5%	6,756	93.2%
関東甲信越	20,273	95.5%	992	99.1%	21,265	95.7%
北 陸	1,134	80.8%	65	79.3%	1,199	80.7%
中 部	11,290	97.1%	740	87.0%	12,030	96.4%
近 畿	4,308	96.1%	245	83.3%	4,553	95.3%
中 国	5,407	96.5%	258	84.9%	5,665	95.9%
九 州	12,393	96.1%	760	102.3%	13,153	96.5%
四 国	5,333	102.9%	317	94.3%	5,650	102.3%
香川県	1,658	104.1%	90	89.1%	1,748	103.2%
徳島県	1,423	100.9%	103	96.3%	1,526	100.5%
愛媛県	1,423	106.4%	66	80.5%	1,489	104.9%
高知県	829	98.2%	58	126.1%	887	99.7%
合 計	67,612	95.9%	3,760	93.8%	71,372	95.7%

図－1 平成 22 年度上半期浄化槽出荷状況(ブロック別)



0.3% 減となった。

なお、他のブロックは軒並み前年度に比べ出荷台数が減少している。

特に北陸・北海道の落ち込みが大きく、北陸 1,199 基で 19.3% 減、北海道が 1,101 基で 12.5% 減であった。

住宅着工件数微減

■ 22 年 4 月～9 月 ■

徳島県建築指導課がまとめた徳島県に於ける平成 22 年度上半期の住宅着工件数は、1,809 戸で前年度（1,926 戸）対比で△132 戸となり 6.1% の減少となった。図－2

本年度も、効果的な景気対策が期待できないことから、前年度に続き新規住宅着工件数は減少すると見込まれる。

図－2 住宅着工件数の推移(平成 18 年度～22 年度上半期)



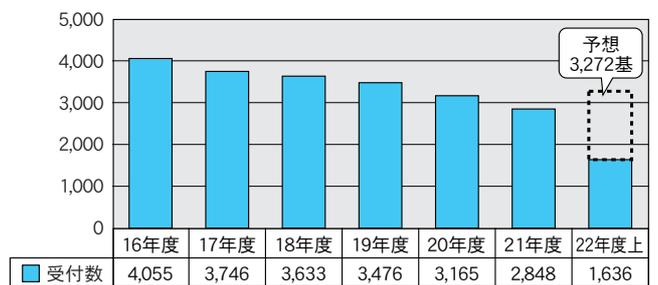
浄化槽受付数は微増

県環境技術センターは 22 年度 4 月から 9 月までの上半期の浄化槽設置届出書の受付数を纏めた。

その結果、県内全体では 4 月 316 基、5 月 237 基 6 月 299 基、7 月 284 基、8 月 220 基、9 月 280 基で合計 1,636 基を受け付けた。これは前年同期 1,537 基に比べ、6.4% の微増となった。

市町村別にみると、昨年より基数が増えた市町村は、藍住町 104 基（前年度 71 基）46.5% 増、徳島市 454 基（同 431 基）5.3% 増、鳴門市 152 基（同 122 基）24.6% 増、松茂町 38 基（同 24 基）58.3% 増、阿南市 190 基（同 170 基）11.8% 増、阿波市 86 基（同 74 基）16.2% 増、美馬市 66 基（同 45 基）46.7% 増であった。減少が大きかったのが、神山町 9 基（前年度 20 基）55% 減、三好市 81 基（同 95 基）14.7% 減、

図－3 浄化槽設置届出書受付数(過去 7 年間)



東みよし町30基(同42基) 28.6%減であった。

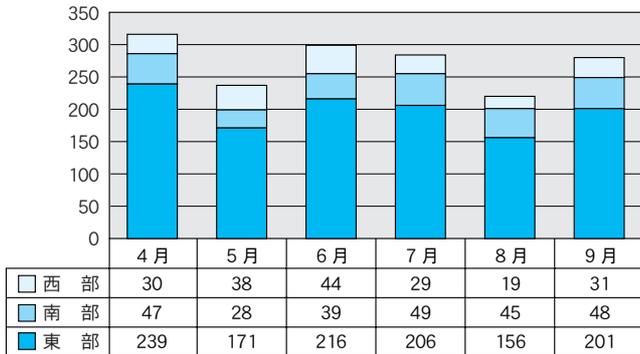
住宅着工件数は減少しているが、浄化槽システム協会が発表した出荷台数(前年度比0.5%増)とも微増となっていることから、経済が不況下において、汲み取りトイレの水洗化や単独槽からの転換による浄化槽の設置が増えているものと推測される。



表-2

市町村名	21年上	22年上	差異	
徳島市	431	454	23	105.3%
藍住町	71	104	33	146.5%
北島町	78	78	0	100.0%
佐那河内	1	1	0	100.0%
石井町	55	61	6	110.9%
神山町	20	9	-11	45.0%
上板町	36	35	-1	97.2%
鳴門市	122	152	30	124.6%
松茂町	24	38	14	158.3%
板野町	26	24	-2	92.3%
小松島市	92	92	0	100.0%
勝浦町	12	8	-4	66.7%
上勝町	7	12	5	171.4%
阿南市	170	190	20	111.8%
那賀町	15	20	5	133.3%
美波町	15	15	0	100.0%
牟岐町	25	22	-3	88.0%
海陽町	17	9	-8	52.9%
阿波市	74	86	12	116.2%
吉野川市	41	35	-6	85.4%
美馬市	45	66	21	146.7%
つるぎ町	23	14	-9	60.9%
三好市	95	81	-14	85.3%
東みよし町	42	30	-12	71.4%
計	1,537	1,636	99	106.4%

図-4 平成22年度上半期浄化槽設置届受付数



水質計量便り



青空を背景に、大きな銀杏並木が黄色に染まり、青々としていた木々も気がつけば紅色に。。。すっかり秋めいてきました。

さあ自然の癒しの空間へ出かけましょう！
(^▽^)/

さて、徳島には四国三郎と謳われる雄大な吉野川が流れ、その河口域には自然が多く残された干潟があります。

第十堰から下流域では絶滅危惧種に指定される「シオマネキ」や「ズグロカモメ」が生息し、そのほかにも様々な魚や甲虫類、野鳥など貴重な生物が存在します！

ここでは、生物多様性を維持する生態系を身近に見ることができますよ。

この自然または自然に近い湿地帯の存在と絶滅危惧種が生息し、生物多様性の維持に重要な動植物が生息するなどが評価され、このたび、吉野川河口域がラムサール条約の候補地に初めて選定されました。

拍手、拍手 (^▽^)/

環境省が選定したのは湿地172箇所ですが、最終的には6箇所ぐらいまで絞り込む予定らしく、ハードルはまだまだ高そうですね。

徳島の誇れる湿地帯。皆さんも一度足を運んでください。
by koizumi

※ラムサール条約

湿地の保存に関する国際条約のこと。動植物特に水鳥の生息地である湿地の生態系を守ることを目的としている。

南部県民局管内の行政連絡会議開催



南部総合県民局は、10月22日午後2時から、管内環境行政連絡協議会を開催した。

協議会には管内及び関係行政機関の市町村、県環境整備課、自然環境課、県警察関係、家畜保健衛生所、検査機関などから担当者32名が出席した。

まず、南部総合県民局保健福祉部古川順啓次長が開会挨拶をしたあと、戸井環境担当課長補佐の進行によ



り関係行政機関から次のとおり報告された。

協議会で報告された内容は次のとおり

- ①「みなみから届ける環づくり会議の報告について」
南部総合県民局環境担当課長補佐 戸井 敬浩 氏
- ②「自然保護・鳥類保護関係の業務について」
同 環境担当課長補佐 藤友 毅 氏
- ③「水質汚濁関係等業務について」
同 環境担当課長補佐 高岡 淳 氏
- ④「浄化槽行政の現状等について」
同 環境担当課長補佐 犬伏 宏行 氏
- ⑤「不法投棄対策事業について」
環境整備課処理業審査・指導担当主任 赤井 義樹 氏
- ⑥「徳島県に於けるニホンジカの被害対策について」
自然環境課課長補佐 宇野 元博 氏

草津温泉で会員親睦会



10月19・20日の両日、会員18名が群馬県の草津温泉への旅行を楽しんだ。

これは、今年長野県で開催された浄化槽全国集会に併せて企画したものであり、役員だけでなく、会員の皆様にも、全国集会の様子を見学していただき、浄化槽に関する見聞を広げていただくと共に、温泉で日頃の疲れを癒していただこうと松原会長が発案し実施したものである。

一行は長野県で集会に参加後、紅葉の景色がすばらしい志賀高原を抜け、一路草津温泉に。



鬼押し出し園



ハッ場ダム



温泉では、地元料理に舌鼓を打ち、宴会部長の四国浄水橋本氏と豊栄管理工業田村両氏がバックコーラスやダンスでカラオケを盛り上げるなど楽しい時間を過ごした。翌日は、浅間山からの溶岩で出来た鬼押し出し岩や昨年、突然の工事中止で有名になったハッ場ダムなどを見学した。朝6時出発で、夜10時を回る到着となり、かなり強行軍となったバス旅行であったが、車内では、テストやクイズなどをし、あっという間の二日間であった。会員の皆様からは、『来年も参加したい』との声が多く、会長は是非企画したいと答えていた。

*** お知らせ ***

あすたむらんど徳島の開催のお知らせ

あすたむらんど徳島で環境と健康をテーマに「あさん地球フェスタinいたの」が開催されます。

当センターも、未来の水環境保全を担う子供たちを対象に、「環境クイズ大会・環境カード遊び・おもしろ水実験」などを通じ、水の大切さ、浄化槽の役割などをPRします。是非ご参加下さい。

とき 11月23日(火・祝) 10:00~16:00

ところ あすたむらんど徳島 子ども科学館



事務局だより

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

- 11条検査
日程：平成22年11月17日~11月24日
地区：鳴門市一斉検査(岡崎、立岩、林崎、北浜、弁財天)
- 11条検査
日程：平成22年11月25日~12月15日
地区：鳴門、徳島市外、徳島市内、小松島
- 11条検査
日程：平成22年12月1日~12月17日
地区：祖谷地区一斉検査
- 11条検査
日程：平成22年11月22日~12月27日
地区：阿南市
- 7条検査
日程：平成22年11月15日~11月19日
地区：美馬市、三好市
- 7条検査
日程：平成22年11月22日~11月26日
地区：阿南市
- 7条検査
日程：平成22年11月29日~12月3日
地区：鳴門市
- 7条検査
日程：平成22年12月6日~12月10日
地区：小松島市、海部郡

